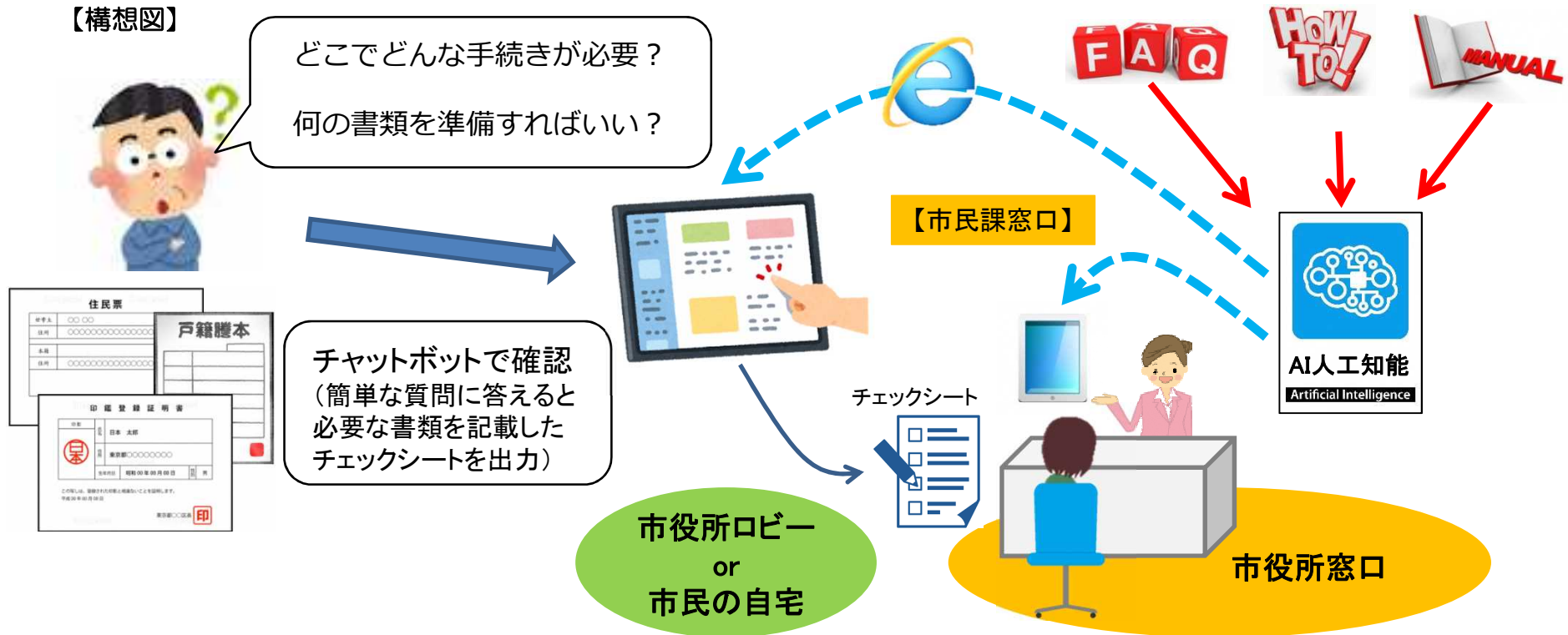


# AIを活用した窓口業務支援ツールの開発

- 人口減少社会を迎え、死亡届の件数が増えているが、遺族が行う必要のある手続きは死亡届に始まり住民票の世帯主変更、国保の資格喪失届、年金受給者死亡届等多種多様である。
- そこで、窓口対応手順や過去のケース、ノウハウ等をデータベース化し、AIを用いた検索機能で適切な回答を導き出すチャットボットを構築する。
- ネット上でも窓口でも利用できるチャットボットとすることで、県民の利便性向上とともに、行政の窓口業務の負担軽減やスムーズなサービス提供を実現する。

## 【構想図】



事業実施主体  
(コンソーシアム構成員)

株式会社オルゴ（大分市）、佐伯市（佐伯市）、日本文理大学（大分市）